

中国・四国支部 第2回全体協議会

新支部長に正木氏選任

水コン協中・四国支部 総会開く



(定時総会)を開いた。総会では、平成23年度事業報告や決算報告、24年度事業計画案などを承認したほか、任期満了に伴う役員改選も行われ、正木晋氏(写真)が大広エンジニアリングを新支部長に選出した。

(一社)全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部(松本茂樹支部長)は5日、広島市南区金屋町にあるワークピア広島で第2回全体協議会

はあるが、業界各社の考え方も改めていかななくてはならない」と危機感を示す一方、「震災以降、災害に強い国土づくりの重要性が認められ、完全に流れが変わったことは一筋の明かりと言える。業



総会のもよう

界への波及も期待しながら、我々も努力を重ねていこうと呼びかけた。

続く議事では、松本支部長を議長に平成23年度事業報告や収支決算報告、24年度事業計画案及び収支予算案などを審議し、全会一致で可決したほか、

昨年11月に一般社団法人へ移行したことなどに伴う運営規則の改正も承認。24年度事業計画では、技術講習会などの育成事業、下水道ふれあいフェアなどの普及啓発活動事業、災害時支援に係る事業、施設見学会・講習会などの資質

向上のための事業、官公庁への要望活動事業などを推進していくことを申し合わせた。

また、任期満了に伴う役員改選では、全役員の再任を決め、新支部長には役員との互選により正木晋副支部長を選出。副支部長には下村三朗氏(留任・中電技術コンサルタント)と山地芳和氏(新任・朝日設計)が選ばれ、正木新支部長は就任挨拶で「経験豊かな松本支部長の後任ということもあり、身が引き締まる思いでお受けした。初めてなので不安だが、皆さんの支援と指導をいただきながら頑張りたい」と述べた。

なお、総会終了後には恒例の懇親会も開かれ、和やかな雰囲気の中、一層の親睦を深めた。